

環境技術実証モデル事業 閉鎖性海域における水環境改善技術分野 進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 18 年度の進捗状況

【ワーキンググループ（WG）開催経緯等】

平成 17 年度に自治体アンケートおよび有識者ヒアリングを実施した結果、閉鎖性海域における水環境改善技術について、幅広い実証ニーズが存在することが判明した。

このため、平成 17 年度第 3 回環境技術実証モデル事業検討会（平成 18 年 3 月 15 日開催）において、新規分野として以下の技術を追加することとした。

【対象とする技術の内容】

- ・ 水質の悪化により、貧酸素水塊や赤潮等が発生し、生態系等に悪影響が生じている閉鎖性海域において、水質および底質の直接浄化に資する、または生物生息環境の改善に資する技術分野。ただし、現場で直接適用可能なものを基本とし、しゅんせつ等大規模な土木工事等を要するものを除く。

2. 今後の予定

【平成 18 年度】

- ・ 18 年 10 月 23 日：第 1 回 WG 実証試験の位置づけの検討、試験方法の枠組みの検討、対象技術の検討 等
- ・ 18 年 11 月 27 日：第 2 回 WG 実証試験要領（第 1 次案）の検討
- ・ 18 年 12 月 27 日：第 3 回 WG 実証試験要領（第 2 次案）の検討、関係者による意見陳述
- ・ 19 年 1 月 29 日：第 4 回 WG 実証試験要領（第 3 次案）の検討
- ・ 19 年 2 月 16 日：実証試験要領の公表
- ・ 19 年 2 月 16 日 3 月 2 日：実証試験機関の募集
- ・ 19 年 3 月 9 日：第 5 回 WG 実証機関の選定に関する審議
3 県を実証機関として選定する予定

【平成 19 年度】

- ・ 実証機関による実証試験を開始

（WG 検討員名簿は資料 1-7-2 参照）